

緑生瓦版

2006.09.01

第四号

観天候気といふ葉を
ご存じですか？

本来は空を観て天気を予測するという意味の言葉ですが、その意味合いから、気象予測に関する様々な諺（言い伝え）も指すようになりました。こうした諺の多くは、科学的にも証明されており、現在も利用されています。自然再生が叫ばれる昨今では、環境の「観天望気」に耳を傾ける必要があるのかもしれないね。

調査部

小林 達彦

緑生研究所って、どんな会社…？

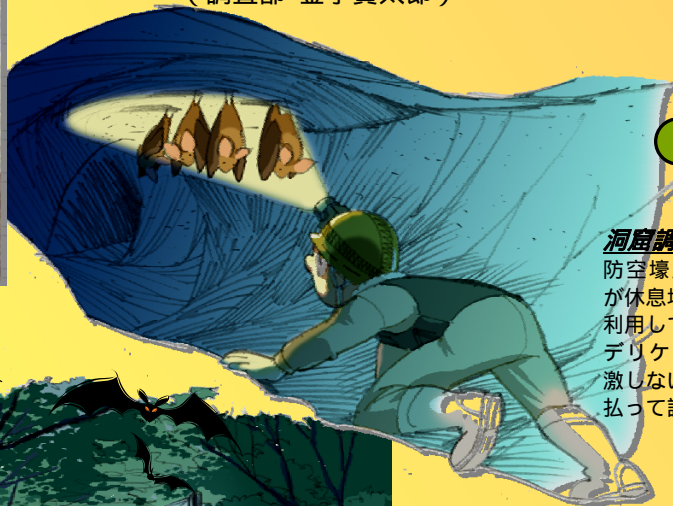
～特殊な調査の巻～
コウモリ類調査について

現在日本には35種（日本産哺乳類のおよそ3分の1）のコウモリ類が生息しているといわれており、そのうち29種は環境省の重要種に指定されています。生態については不明な点が多く残っていますが、生態系のなかで重要な位置を占めているとして、近年特に注目を集めています。今回はそんなコウモリ類を調査するための方法をいくつかご紹介します。

（調査部 金子賢太郎）

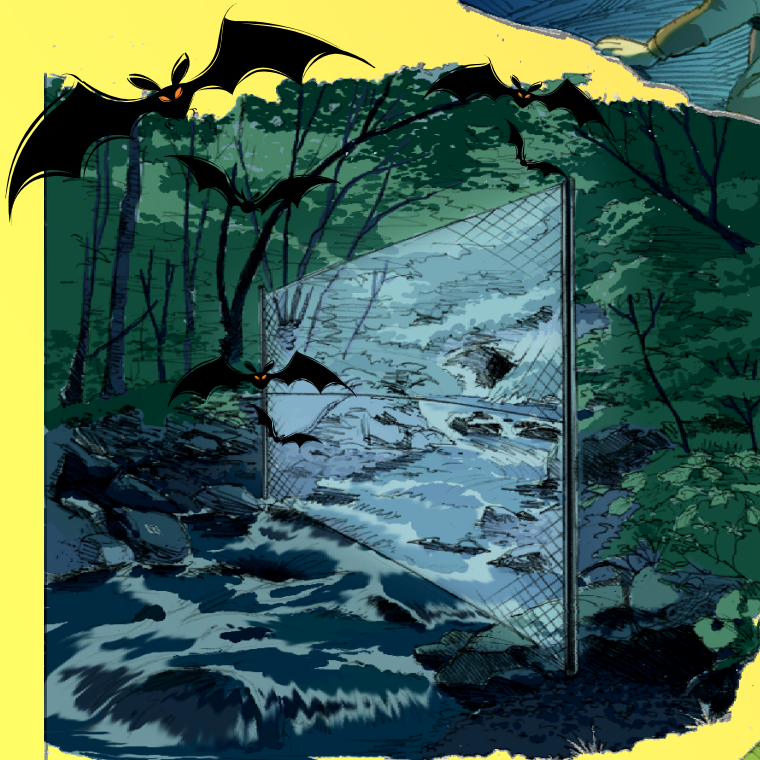


キクガシラコウモリ



洞窟調査

防空壕跡や試掘坑はコウモリが休息場所（繁殖場所）として利用していることがあります。デリケートなコウモリ類を刺激しないように、細心の注意を払って調査します。



カスミ網調査

コウモリ類を捕獲するための調査です。コウモリの同定には、各部の計測が必要になることがあります。そのため、その地域のコウモリ類相を把握するためにカスミ網調査が行われます。（コウモリの捕獲には、国または都道府県の許可が必要です）



コテングコウモリ



バットディテクター

コウモリ類が発する超音波を可聴音に変換する機械です。暗間でもコウモリ類の飛翔が確認できます。（種の同定は困難です）

写真だよ



サシバ *Butastur indicus*

国内には夏鳥として飛来しますが、9月の終わりになると、群れをなして南西諸島などに渡っていきます。近年個体数が減少している種として注目されています。

ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

薄い翅をした黄色いトンボで、お盆の頃に最も多く姿をあらわします。そのため、セイレイ(精霊)トンボやボン(盆)トンボなどと呼ばれることがあります。



アンケートのお願い!

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** をお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。

第五号は、本格焼酎の日であり、泡盛の日である十一月一日の発行を予定しています。

特集では『猛禽類調査の移り変わり』を取り上げます。



秋の夜ながに虫の声に耳をかたむけるなんて風流ですね。以前は場所や時間の違いで、いろいろな虫の声を楽しむことが出来ましたが、近ごろではアオマツムシの鳴き声ばかり、一匹なら澄んだきれいな声なのに、大合唱が一晚中です。布団のなかでかぞえる羊の数とどちらが多いのでしょうか。

